

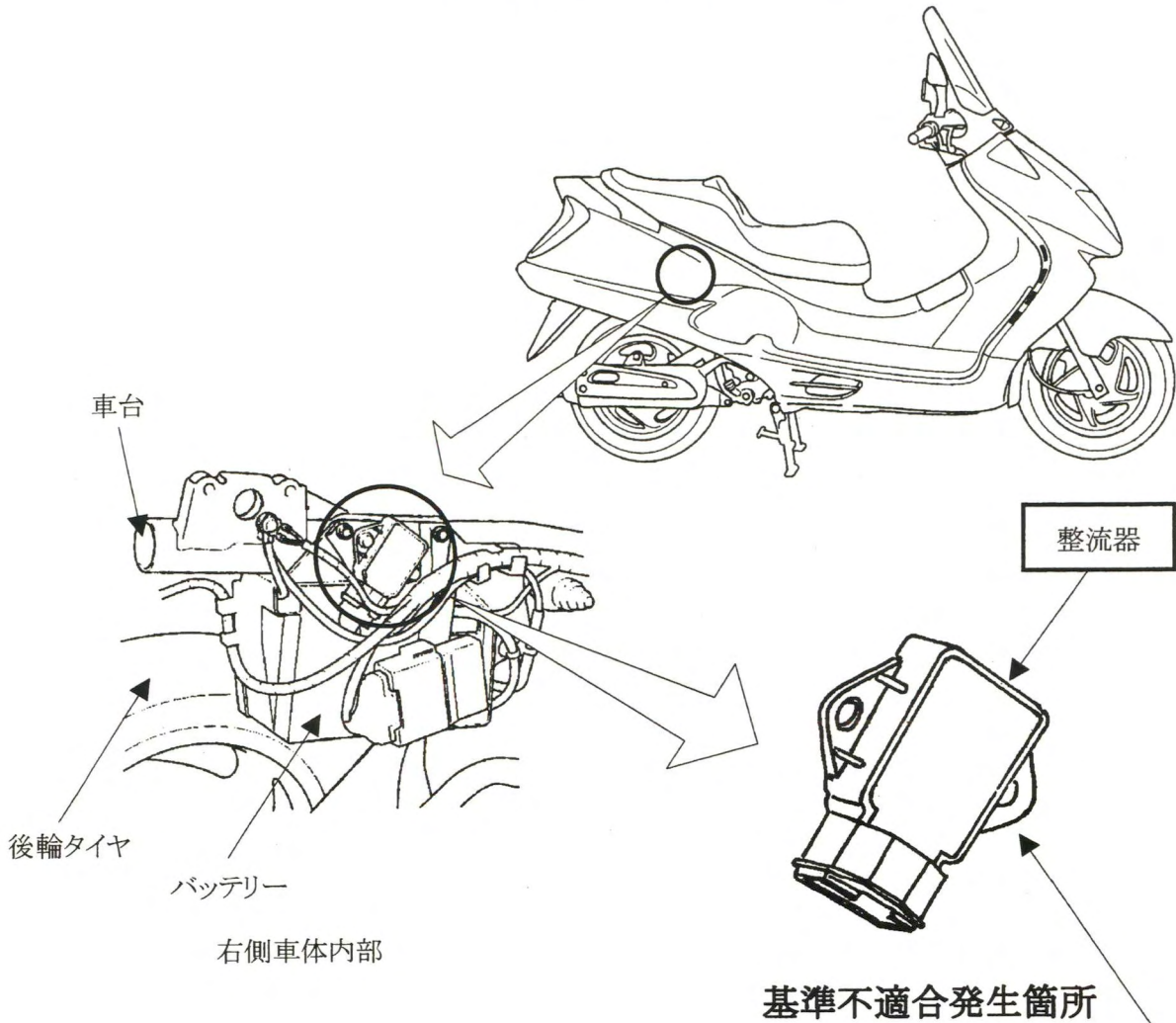
リコール届出一覧表

リコール届出日：平成12年2月8日

リコール届出番号	607	リコール開始日	平成12年2月9日	
届出者の氏名又は名称	本田技研工業株式会社 代表取締役 吉野 浩行			
不具合の部位（部品名）	電気装置（整流器）			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	電気装置において、バッテリーを充電する整流器の放熱性能が不適切なため、そのままの状態で使用を続けると当該整流器回路のダイオードが熱害により損傷し、整流器回路に過大な電流が流れることから発熱するものがあり、最悪の場合、整流器の樹脂部が溶損し発火するおそれがある。			
改善措置の内容	全車両、当該整流器を対策品と交換する。			
不具合件数	2件	事故の有無	無し	
発見の動機	海外の販売会社からの情報による。			
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：ダイレクトメールで通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・改善実施済車には、車体左側スタンド取付部付近にNo. 607のステッカーを貼付する。</li> </ul>			

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ホンダ	MF04	フォーサイト	MF04-1000018～MF04-1011258 平成9年4月25日～平成10年2月6日	11,241台	
			MF04-1100001～MF04-1102771 平成10年3月16日～平成11年7月16日	2,771台	
	BA-MF04		MF04-1200017～MF04-1202358 平成11年7月22日～平成11年12月28日	2,342台	
	(計2型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成9年4月25日～平成11年12月28日	(計16,354台)	

# 改善箇所説明図

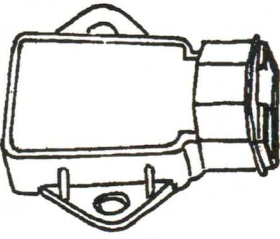
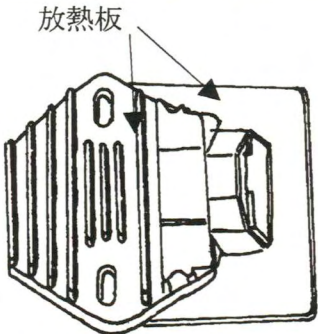


電気装置において、バッテリーを充電する整流器の放熱性能が不適切なため、そのままの状態で使用を続けると当該整流器回路のダイオードが熱害により損傷し、整流器回路に過大な電流が流れることから発熱するものがあり、最悪の場合、整流器の樹脂部が溶損し発火するおそれがある。

注:  は交換部品を示す

## 改善内容

全車両、当該整流器を対策品と交換する。

改善前	改善後
 <p style="text-align: center;">整流器 (モールドタイプ)</p>	 <p style="text-align: center;">放熱板</p> <p style="text-align: right;">整流器 (フィン付タイプ)</p>

識別: 車体左側スタンド付近に黄色ペイントを塗布する。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(CC))	備考
ホンダ	MF04	フォーサイト	軽二輪 自動車 (2輪)	オートバイ	MF04E (249 CC)	
	BA-MF04					